

---

2017年 4月 6日

各 位

株式会社 三重銀総研

第42回「経営者アンケート」調査結果について

三重銀行グループのシンクタンクであります 株式会社三重銀総研（代表取締役 筒井 真）では、このたびお取引先企業で構成する三重銀経営者クラブの会員を対象とした経営者アンケートを実施し、調査結果を取りまとめましたのでご報告申し上げます。

- 経営者アンケート調査の概要 -

1. 調査対象

三重銀経営者クラブ会員で、資本金1億円以下の三重県下法人企業1,057社

2. 調査方法

郵送によるアンケート調査

3. 調査時期

2017年3月上旬～中旬

4. 回収状況

配布数 1,057社

回収数 401社（回収率 37.9%）

5. 調査結果

別添資料

経営者アンケートは、年2回（3月・9月）実施しております。

なお、本件に関するお問い合わせは、下記担当者までお願い致します。

株式会社三重銀総研 調査部（059-354-7102）

担当 長井 翔吾

以上

## 第42回経営者アンケート調査結果<概要版>

### 企業の景況感は大きく改善

#### 【今回のポイント】

県内景気はD.I.値が大きく改善し、6半期ぶりのプラスに。(p3)

2016年度下期(2016年10月～2017年3月)の県内景気は、D.I.値が+1.4と、前期(15.4)から大きく改善し、プラスとなった。来期(2017年4月～9月)は1.2と、小幅ながらマイナスに転じると見込まれており、経営者の景況感は持ち直しが一服する見通しである。

#### 【総括】

景況感を示すD.I.値は大きく改善し、6半期ぶりのプラスとなった。先行きは小幅なマイナスに転じ、経営者の景況感は持ち直しが一服する見込みである。売上高および利益状況のD.I.値は、製造業、建設業、非製造業がそれぞれ改善した。また、設備投資を「実施した」企業の割合が2半期ぶりに増加したほか、雇用状況を「不足」とみる企業の割合、来期に「増やす」企業の割合が、ともに1996年度上期の調査開始以来最高の水準となった。

#### 【項目別】

県内景気 ... D.I.値は大きく改善し、6半期ぶりのプラスとなった。先行きについては、小幅なマイナスに転じるとみられ、経営者の景況感は持ち直しが一服する見込みである。(p3)

業界景気 ... 製造業、建設業、非製造業のD.I.値はそれぞれ改善し、特に建設業は4半期ぶりのプラスとなった。先行き、製造業は改善が続く一方、建設業、非製造業はそれぞれ悪化が見込まれる。(p4～7)

自社の業況 ... 製造業は、売上高、利益状況のD.I.値がともに改善し、先行きもプラスを維持する見込みである。建設業は、売上高、利益状況のD.I.値がともに大きく改善してプラスとなったが、先行きは悪化する見込みである。また、非製造業は、売上高・利益状況ともに改善して4半期連続のプラスを維持し、先行きは悪化するもののプラスを維持する見込みである。(p8～15)

経営判断 ... 設備投資の実施状況を見ると、「実施した」企業の割合は2半期ぶりに増加した。雇用状況は、「不足」とみる企業の割合、来期に「増やす」企業の割合がともに増加し、1996年度上期の調査開始以来最高の水準となった。(p16・17)

2017年度上期の展望 ... 「マイナス要因が強い」とみる企業の割合が減少した一方、「プラス要因が強い」、「どちらとも言えない」とみる企業の割合は増加し、企業の先行きに対する不安感が和らいだ。(p18・19)

#### 特別調査～雇用環境について～

... 自社の業況からみた現在の雇用水準について、「やや不足している」、「非常に不足している」と回答した割合が合計で6割超に上り、うち「非常に不足している」と回答した割合は約1割となった。労働需給の適正化につながる取組について、「現在実施している」、「現在実施していないが、今後の実施を検討している」と回答した企業の割合がともに約4割みられた。(p20～22)

#### 【調査の概要】

##### 1. 調査対象

三重銀経営者クラブ会員で、資本金1億円以下の三重県下法人企業1,057社

##### 2. 調査方法

郵送によるアンケート調査

##### 3. 調査時期

2017年3月上旬～中旬

##### 4. 回答状況

配布数	1,057票	(前回	1,011票)
回収数	401票	(前回	406票)
回収率	37.9%	(前回	40.2%)

なお、詳細な内容につきましては、調査結果冊子をご参照下さい。